

2025年10月27日

T.Kobayashi

政党の組織と人事をながめてみたら

10月の政界観察日記

10月9日

高市早苗氏が自由民主党の総裁に選出されて、党の主要人事が発表された。

今後の首班指名・組閣などの山を越えていかないと内閣の船出には至らないが、見方によっては無事船出できるどうかの心配も尽きない。まずは、役員の顔ぶれを眺めて見ることにした。

●自由民主党の組織と人事（自民党ホームページから入手）

役職	氏名	年齢	旧派閥	来歴
総裁	高市早苗	64		
副総裁	麻生太郎	85	麻生	
幹事長	鈴木俊一	72	麻生	鈴木善幸の息子で世襲議員 姉の夫は麻生太郎
総務会長	有村治子	55	麻生	父は滋賀県連の要人、日本マクドナルドを経て 2001年参議院初当選
政務調査会長	小林鷹之	50	二階	大蔵省理財局・国際局、在米日本大使館書記官 を経て、2012年衆議院初当選
選挙対策委員長	古屋圭司	72		伯父古屋亨の地盤を受け継ぐ世襲議員 大正海上火災保険を経て安倍晋太郎秘書 公職選挙法違反・舌禍事件・統一教会接触有り
組織運動本部長	新藤義孝	67		川口市役所勤務、川口ふたば幼稚園園長、 川口市議会議員を経て1996年衆議院初当選
広報本部長	鈴木貴子	39		鈴木宗男の娘で世襲議員。カナダの大学を卒業後 NHKディレクターを経て2012年公民権停止中の父 親の代理で出て衆議院次点、後に繰り上げ当選
国会対策委員長	梶山弘志	69		梶山静六の息子で、世襲議員。日本原研開発機 構・梶山静六秘書を経て2000年衆議院初当選
幹事長代行	萩生田光一	62		八王子市議秘書・八王子市議・東京都議を経て 2003年衆議院初当選 統一教会と関係・安倍派裏金問題に関与
参議院 議員会長	松山政司	66		会社経営・福岡青年会議所・日本青年会議所会 頭を経て、2001年参議院初当選
参議院 幹事長	石井準一	67		浜田幸一の住み込み秘書・千葉県議を20年 2007年倉田寛之の地盤を受継ぎ衆議院初当選
参議院 政策審議会長	山本順三	70		川崎製鉄勤務・父の後を継いで愛媛県議 2004年参議院初当選
参議院 国会対策委員長	磯崎仁彦	68		全日空社員を経て、自民党香川県連の公募に応 募して2010年参議院初当選

*各部・会のメンバーは、10月9日現在まだ発表されていない。

毎度のことながら、総裁選における論功行賞型の人事で、自民党の言葉ではこれを「挙党一致人事」と言うらしい。特に決選投票の裏舞台を反映したことが目立っているように感じる。

何代か前の総裁選の時には、派閥均衡型の人事を「挙党一致人事」と言っていたこともあった。

最も大きな変更点は、これまで麻生太郎氏が最高顧問という肩書きで、総裁より上の序列の所に示されていたが、今回は副総裁という形で総裁の下に書いてある。

挙党一致の言葉の後に隠れる「麻生傀儡人事」をカモフラージュする意図が感じられる。

国民には既にばれているので、もし傀儡政権ではないのならば、実務の上で示していかないと、自民党の党員の中では良いかもしれないが、一般国民の目はごまかせない。

そんな騒動を横目に見ながら、立憲民主党など野党の組織・人事も眺めて見た。

●立憲民主党の組織と人事（立憲民主党ホームページから入手）

幹部の役職	氏名	配下の役職	氏名
最高顧問	枝野幸男		
常任顧問	泉健太 岡田克也・ 海江田万里		
代表	野田佳彦		
代表代行	近藤昭一 馬淵澄夫 吉田はるみ		
幹事長	安住淳	幹事長代行	西村智奈美
		幹事長代理	山井和則・後藤祐一・田名部匡代
		副幹事長	12人
常任幹事会議長	菊田真紀子	常任幹事	各地域ブロックの常任幹事（12人）
参議院議員会長	水岡俊一		
選挙対策委員長	逢坂誠二		*
政務調査会長	本庄知史		*
国会対策委員長	笠 浩史		*
幹事長代行	西村智奈美		

*それぞれの会には、会長代行・会長代理・副会長・会長補佐などがいる

党代表の上に常任顧問が三人、その上に最高顧問が一人いて、素直にこの図を見れば、野田佳彦氏は党内の序列では5番目であることがわかる。頭の上で蠅が四匹飛び回っている景色が思い浮かぶ。さらに、代表の下に「代表代行」が三人、幹事長の下には「幹事長代行」「幹事長代理（3人）」「副幹事長（12人）」いる。一般国民の目で見ると「代行・代理・副」の意味の違いがよくわからず、責任の所在もわかりにくい。肩書きを欲しがる人に与えたのか、肩書きを与えて縛りをしているのか、良い印象は全く感じられない。

各会・委員会などの組織も、会長・会長代行・会長代理・副会長・会長補佐などがずらりと並ぶ。組織の寄せ集めで出来ていて、脆弱なところを一枚岩に見せるための演出としか感じられない。

●国民民主党(国民民主党ホームページから入手)

役員区分	役職	氏名	配下の役職	氏名
執行役員	代表	玉木雄一郎		
	代表代行兼 国会対策委員長	古川元久		
	幹事長	榛葉賀津也	幹事長代行	川井孝典
			副幹事長	西岡秀子・竹詰仁
	幹事長代行兼 地方自治体議員担当	川井孝典		
	政務調査会長兼 役員室長	浜口誠		
	選挙対策委員長	浜野喜史		
	参議院議員会長兼 両院議員総会長	舟山康江		
	副代表兼 広報委員長代理	磯崎哲史		
	選挙対策委員長代行兼 青年局長	浅野哲		
	広報委員長	伊藤孝恵		
党務役員	副代表	鈴木義広 磯崎哲史		
顧問		川端達夫 高木義明 大畠章宏 直島正行 小林正夫		

この党の組織の基本構成は自由民主党とよく似ているが、「代行・代理・副」の乱発は、立憲民主党とよく似ている。

代表の下に「代表代行」がいて、「副代表」がいて、幹事長の下には「幹事長代行」「副幹事長」がいる。殆どの委員会・会には、委員長・会長の下に「代行・代理・副」が存在し、さらに筆頭副 XX がいたり、事務局長がいる組織もある。

この党もいくつもの政党の離合集散の結果の産物であることを感じさせる。一枚岩に見せかけるための苦肉の策か、権力闘争やポスト願望が全面に出ているのか、一般国民に対して平穏さを PR するための演技がどこまで可能だろうか。

この党の組織表の末尾には、「顧問」として五人(川端達夫・高木義明・大畠章宏・直島正行・小林正夫)の名前が並んでいた。組織図上の序列がこのポジションなのか、それとも目くらましのために最下位に書かれているのかは、わからない。

●日本維新の会（日本維新の会ホームページから入手）

役員区分	役職	氏名	備考
常任役員	代表	吉村洋文	
	共同代表	藤田文武	
	顧問	馬場伸幸	
		前原誠司	
	副代表	横山ひでゆき	
	幹事長兼 選挙対策本部長	中司宏	
	幹事長代行	杉江ゆうすけ	
	政務調査会長兼 維新政治塾長	斎藤アレックス	
	政務調査会長代行兼 会計監査人	高見りょう	
	総務会長兼 全国連絡会長	高木かおり	
	総務会長代行	黒田まりこ	
	幹事長代理	金村りゅうな	
		森かずとみ	
		辻淳子	
		山下真	
		宮本一孝	
役員			15人前後いる

常任役員と役員との二階層になっており、常任役員が執行部なのだろうと思う。

この党のよくわかりにくい点は、「代表」の下に「共同代表」という意味の解りにくい存在がいることと、さらにその下に顧問が二人配置されていて、さらにその下に副代表がいる。

ここまでを見る限り「序列」を示していると考えられる。この党も「見せかけ一枚岩」の風情が感じられ、誰が何に責任を持っているのかはさっぱりわからない。

「幹事長」の下にも「幹事長代行」がいて、その下に「幹事長代理」もいる。

政務調査会・総務会も同じように「会長」の下に「会長代行」がいる。「代行」と「代理」の違いは何だろう。

10月10日

さて、公明党の連立内閣からの離脱が発表されると、にわかにマスコミが騒々しくなってきた。

「野党が手を組んで政見を取るチャンス」とか、「連立に参加するのはどの党になるのか」などなど、各政党の間で議論や動きが始まり、政策はそっちのけで数合わせだけのような空気になった。

マスコミも、その流れに乗って憶測に基づく取材や報道が続き、芸能スキャンダルのようなようになった。

10月21日

そして、日本維新の会の協力を得て「自民党中心の内閣」の編成ができることになり、首班指名の投票を経て「高市内閣総理大臣」の誕生にたどりついた。

●高市内閣閣僚名簿（新聞発表情報から抜粋）

大臣	名前	年令	旧派閥	選挙区	人物像・経歴など
総理大臣	高市早苗	64		奈良	
総務	林 芳正	64	岸田	山口	三井物産他を経て父林義郎の政策秘書 '95年参議院初当選、2008年福田内閣 で初入閣（防衛大臣）
法務	平口 洋	77	茂木	広島	建設省入省を経て'05年衆議院初当選 副大臣経験は抱負だが、「今回初入閣
外務	茂木敏充	70	安倍	栃木	読売新聞記者・マッキンゼーを経て'93年日 本新党で衆議院初当選 のちに無所属を経て'95自民党に入党
財務	片山さつき	66	安倍	静岡	大蔵省入省、主計局・関税局などを歴任 のあと'05年衆議院初当選、安倍内閣で 初入閣
文部科学	松本洋平	52	二階	東京	三和銀行勤務を経て'05年衆議院初当 選、当落を繰り返したが'12年以降再選
厚生労働	上野賢一郎	60	森山	滋賀	自治省入省、'05年衆議院初当選 落選・知事選出馬などを経て'12年復帰
農林水産	鈴木憲和	43	茂木	山形	農水省に入省、'12年退官し山形に移住 自民県連の公募に合格し'12年初当選
経済産業	赤沢亮正	64		鳥取	衆議院議員だった祖父の養子になり、 運輸省に入省、'05年衆議院初当選
国土交通	金子恭之	64	岸田	熊本	田代由紀男・園田博之の秘書を経て '00年無所属で衆議院初当選、のち入党
環境	石原宏高	61	岸田	東京	石原慎太郎の三男、日本興業銀行を 経て'03年出馬したが落選、兄伸晃の支援 を受けて'05年初当選
防衛	小泉進次郎	44		神奈川	小泉純一郎の次男で世襲議員、両親離 婚のため伯母に育てられた 米国戦略国 際問題研究所日本本部研究員を経て 2009年父の後継者として衆議院初当選
官房長官	木原 稔	56	茂木	熊本	日本航空・自民党政治学校を経て'05年 衆議院初当選するもその後当落を繰り返 した'12年から衆議院当選継続
デジタル	松本 尚	63	安倍	千葉	金沢大付属病院を皮切りに医師・医学者 として活躍後'21年衆議院初当選
復興	牧野京夫	66	茂木	静岡	テレビ静岡報道記者・静岡県議を経て '07年参議院初当選
国家公安	赤間二郎	57	麻生	神奈川	父（県議）の手伝いを経て県議に、のち 自民党県連の公募を経て衆議院当選

特命担当	黄川田仁志	55		埼玉	東和科学社員から一新塾・松下政経塾を経て(今井宏の地盤継承)衆議院当選
成長戦略	城内 実	60	森山	静岡	外務省でドイツ・韓国関係を歴任後県連の公募を経て‘03年衆議院初当選 郵政民営化反対で一時離党
経済安全 保障	小野田紀美	42	茂木	岡山	塾講師・雑誌編集・ゲーム制作会社などを経験後自民党政経塾・北区議を経て‘16年参議院初当選

総理大臣としての所信表明の演説は、毎度のことながら抽象度が高く「実際」はよく見えないが、国債発行を積み重ねて行きそうな気配は随所に感じられた。

公明党との離別を経て日本維新の会の力を借りてスタートした内閣を、堅固と見るか薄氷と見るか。野党の結束が困難であることはわかっているので、自民党が第一党であることは確かであるが、政権の基盤として安定しているとは言い難い。発足当初の高い支持率はただのお祭り気分にはすぎない。まずは、各閣僚がどんな人物かを知った上で、過度な期待はかけず、偏見・憶測を抑えてお手並みを拝見することにする。最低限の願いとして、「失言・更迭」が出ないことを揚げておく。

以上